

■ 農作物の生育状況と今後の対策等

平成30年8月20日
 三八地域県民局地域農林水産部
 農業普及振興室

I 土地利用型作物

1 水稲

(1) 生育の状況（7月14日現在）

ア まっしぐら

管内8地点にある生育観測ほの生育状況は、草丈は平年比103%の67.2cm、
 茎数は平年比88%の21.4本、葉数は平年比95%の10.1枚であった。

イ つがるロマン

管内3地点にある生育観測ほの生育状況は、草丈は平年と同じ61.8cm、茎
 数は平年比80%の17.7本、葉数は平年比95%の10.4枚であった。

(2) 出穂状況

管内の出穂状況は、出穂始めは8月1日で平年より2日早かったが、出穂
 最盛期は8月6日で平年並み、出穂終わりも8月10日で平年並みであった。

(3) 刈取適期

刈取適期の目安である積算気温960℃には、8月6日出穂（管内の出穂最盛
 期）の場合で、9月22日頃に到達すると予想される。

表1 管内市町村出穂進ちよく状況と出穂期からみた積算気温960℃到達日

市町村	出穂進ちよく状況※1（月・日）						出穂状況別にみた			参考）水 稲作付面 積（ha）
	始め	最盛期				終期	積算気温960℃到達見込※2			
	本年	本年	（平年差）	平年	前年	本年	始め	最盛期	終期	
八戸市	8.1	8.5	（早1日）	8.6	8.6	8.10	9.16	9.22	9.26	1,051
五戸町	8.1	8.5	（早1日）	8.6	8.6	8.9	9.16	9.22	9.25	935
階上町	8.2	8.6	（早1日）	8.7	8.7	8.10	9.17	9.23	9.26	79
新郷村	8.1	8.5	（早1日）	8.6	8.6	8.9	9.16	9.22	9.25	241
三戸町	8.1	8.5	（±0日）	8.5	8.4	8.8	9.16	9.21	9.24	483
南部町	8.2	8.7	（遅1日）	8.6	8.6	8.10	9.17	9.22	9.26	689
田子町	8.2	8.6	（±0日）	8.6	8.6	8.10	9.17	9.22	9.26	387
平均	8.1	8.6	（±0日）	8.6	8.6	8.10	—	—	—	3,865

注1）「出穂進ちよく状況」は、市町村毎及び管内全体の水稲作付面積における出穂が、
 「出穂始め：5%」、「出穂最盛期：50%」、「出穂終期：95%」に達した日

注2）「積算気温」は、アメダス八戸及びアメダス三戸の平均気温を、出穂期の翌日から
 積算した数値である。なお、八戸市・五戸町・階上町・新郷村はアメダス八戸を使
 用し三戸町・南部町・田子町はアメダス三戸を使用した。また、平均気温は8月15
 日までは本年値、8月16日以降は平年値を使用した。

(4) 今後の対策等

- ア 適切な水管理をする。
- イ 斑点米カメムシ防除を徹底する。
- ウ 適期に刈り取る。
- エ 作業を記帳する。

2 大豆

(1) 生育の状況

- ア 生育観測ほである八戸市市川町では7月29日に、五戸町倉石中市では8月2日に開花期を迎えた。
- イ 8月10日の調査では、八戸市市川町では平年に比べ草丈は短く（作付1年目と2年目の平均）、五戸町倉石中市では草丈はやや長い。
- ウ 倒伏はみられないが、八戸市市川町の作付1年目ほ場では生育が旺盛で、倒伏が懸念される。

表2 大豆の生育調査結果（8月10日現在）

地点等	年次	播種期	出芽期 (欠測年有り)	開花期	草丈 (cm)	主茎長 (cm)	分枝数	節数	葉数	
八戸市 市川町	大豆1年目	本年	5月29日	—	7月29日	96.3	68.0	0.8	8.9	—
	大豆2年目	本年	5月29日	—	7月29日	78.4	49.4	1.7	8.7	—
	平均	本年	5月29日	—	7月29日	87.4	58.7	1.3	8.8	—
		平年	5月31日	6月10日	8月2日	92.5	—	—	—	12.3
		前年	5月29日	—	7月31日	96.8	—	—	—	11.2
五戸町 倉石中市		本年	6月11日	—	8月2日	86.2	60.8	3.9	9.7	—
		平年	6月9日	6月14日	8月3日	83.4	—	—	—	11.9
		前年	6月7日	—	7月30日	99.5	—	—	—	14.4

注) 平年は、H24～H29年の平均値

(2) 今後の対策等

- ア 大雨による滞水を避けるため、排水対策を徹底する。
- イ ベと病、アブラムシ類及び食葉性害虫などの病虫害は、発生状況を確認して適期防除に努める。8月中下旬にマメシクイガ及び紫斑病防除を行う。

II 野菜

1 ながいも

(1) 生育の状況

- ア 生育観測ほでは、いも長、いも重、いも径ともに平年を上回っており、蔓の生育も旺盛である。7月末から蕾が見え始め、現在開花中で、生育は平年よりやや進んでいる。
病虫害はナガイモコガの食害が見られる。

イ 一般ほ場では、全般に蔓の生育が旺盛だが、植付けが遅いほ場では、生育量が少ない。むかごの着生始め、開花中、蕾が確認できないものまで生育ステージに差が大きい。

病害虫は、コガネムシ類、ナガイモコガ、ハダニ類の食害痕、炭疽病、葉渋病が散見される。

表3 ながいも生育観測ほの生育調査結果（8月10日現在）

年次	定植期			つるの ネット頂 到達日 (月日)	7月10日現在 (本年調査日:7月10日)			8月10日現在 (本年調査日:8月10日)		
	植付期 (月日)	種いも の 種類	萌芽 揃い (月日)		いも長	いも重	いも径	いも長	いも重	いも径
					(cm)	(g)	(mm)	(cm)	(g)	(mm)
本年 (平年比)	5/12 1日早	芽欠き —	6/11 5日早	7/3 5日早	13.8 81.4%	7.7 88.1%	8.2 102.9%	49.7 110.6%	338.3 195.6%	44.9 128.4%
平年	5/13	—	6/16	7/8	17.0	8.7	8.0	44.9	173.0	35.0
前年	5/8	芽欠き	6/8	7/12	14.7	6.1	6.6	49.7	239.0	37.5

※種子の系統：庄司 ※使用種子の種類・重さ：2年子・120～150g

※平年値はH14～H29年の平均値

(2) 今後の対策等

葉渋病、炭疽病の初期防除の徹底及び、アブラムシ類、ハダニ類、ナガイモコガの防除を行う。

2 にんにく

(1) 生育の状況

ア 生育観測ほの総収量は、平年に比べて、五戸で3%減、倉石で8%減、新郷で9%減、田子で8%減であった。

品質は、7月初めの降雨の影響や春腐病の発生等により、裂球が多く、全体としてA品率は平年をやや下回った。

イ 一般ほ場では、葉の枯れあがりの方が昨年より遅く、収穫の進捗率は、JA調べで、始期(5%)が6月23日(昨年:6月17日)、最盛期(50%)が6月25日(昨年:6月25日)、終期(90%)が7月7日(昨年:7月7日)の進捗状況で、昨年より始期が遅かったものの、終期は同時期であった。

乾燥後の状況は、天候を懸念して、降雨前に早掘りしたところでは、品質は良好であったが小玉傾向であり、逆に、降雨後に収穫したところでは、着色や裂球が発生し、下位等級が多くなった。

表4 生育観測ほの収量調査結果

調査地点	マルチ	年次	りん片 分化期	収穫日	球重 (g)	総収量 (kg/10a)	等級割合 (%)			
							A品	B品	C品	外品
五戸地区 (越掛沢)	透明肩銀	本年	4月18日	6月23日	75.1	1252	49	46	5	0
		平年	4月21日	6月26日	68.2	1283	58	32	8	2
	透明肩銀	前年	4月18日	6月23日	84.4	1501	50	36	10	4
倉石地区 (石沢)	黒	本年	4月19日	6月25日	52.3	866	28	51	20	0
		平年	4月22日	6月24日	67.8	940	48	27	21	5
	グリーン	前年	4月17日	6月23日	55.5	925	34	23	32	11
新郷村 (扇ノ沢)	グリーン穴無し	本年	4月21日	6月25日	57.2	953	46	44	10	0
		平年	4月22日	6月24日	64.2	1042	53	32	12	3
	グリーン穴無し	前年	4月19日	6月24日	76.2	1210	56	30	12	0
田子町 (日ノ沢)	グリーン	本年	4月20日	6月25日	61.6	1027	52	30	16	2
		平年	4月23日	6月28日	67.8	1114	48	32	15	5
	グリーン	前年	4月18日	6月20日	48.6	810	52	34	8	6

※平年値は五戸がH13～H29年、倉石・新郷がH16～H29年、田子がH8～H29年の平均値

(2) 今後の対策等

- ア 種こぼしは、チューリップサビダニの寄生を避けるため、できるだけ植付の直前に行い、種子の保管場所にも注意する。
- イ イモグサレセンチュウの発生を確認したほ場では、体系的な防除対策を実施する。なお、発生が確認されたほ場では、種子の生産は行わない。
- ウ 適期に植付けできるよう、ほ場準備等は計画的に進める。

3 トマト

(1) 生育の状況

ア 生育観測ほでは、7月16日から収穫が始まり、現在3～4段目の収穫期となっている。また、7月中旬から高温・乾燥が続いたことで、4段～6段目に尻腐果、空洞果、裂果の発生が見られる。

灰色かび病は7月中旬以降高温・乾燥が続いたことで収まっていたが、8月5日以降の降雨により再び発生が見られる。また、タバコガ類による果実への食害が見られる。

イ 一般ほ場では、7月中旬以降の高温により落花、生長点付近の萎れや葉焼け、早期白熟果が見られたが、着色が進んだことで前進出荷となっている。

一部のほ場では、尻ぐされ果や灰色かび病の発生、アザミウマ類、タバコガ類による果実への食害が見られる。

表5 生育観測ほの生育調査結果（8月10日現在）

年 度	定 植 時			着 果 状 況								
	品 種 名		定植期 (月日)	育苗・活 着状況	1 段 花 房		3 段 花 房		5 段 花 房		7 段 花 房	
	穂木	台木			開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)
本 年 (平年比)	りんか409 (自根)		5/11 5日早	良好	5/30 2日遅	3.9 108%	6/22 4日遅	2.6 79%	7/4 1日早	1.6 57%	7/24 2日遅	2.5 119%
平 年	りんか409		5/16		5/28	3.6	6/18	3.3	7/5	2.8	7/22	2.1
前 年	りんか409		5/11	良好	5/25	3.6	6/19	3.4	7/2	2.6	7/17	2.0

※栽植様式：畦幅 200cm、株間 40cm、条間 60cm、栽植株数 2,280株/10a、
黒マルチ栽培

※平年値はH20～H29年の平均値

(2) 今後の対策等

ア 気温が高い時は、生長点付近の萎れや軟弱徒長を発生させないように、積極的な換気に努めるとともに、遮光資材を活用する。

イ 天候に応じたかん水や追肥間隔に留意し、樹勢の維持に努める。

ウ 薬剤のローテーション散布に留意して、病害虫の発生状況に応じた適期防除を行う。